

こっこめ通信 02 2021

「島の紅葉と植物の冬越し」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

新型コロナウイルス感染拡大による二度目の緊急事態宣言が発出されたことで、八丈ビジターセンターと八丈植物公園の温室は再度「当面の間、臨時休館」となりました。そんな中ですが、島の自然は季節の移ろいに正直に反応し、この時期ならではの姿を見せてくれています。そこで今回は、本土とは少し違った八丈島の紅葉事情と、冬はそれなりに寒い八丈島で植物たちが工夫して寒さをしのぐ冬越し戦略の紹介です。

八丈島の紅葉事情

落葉樹は秋になると赤や黄色に紅葉し、一斉に葉を落とします。奥多摩や神宮外苑の紅葉は見事です。きれいに紅葉する3つの条件があるそうです。

- 【① 夏に十分な日照時間があること】
- 【② 適度な雨が降ること】
- 【③ 秋に昼夜の温度差が大きいこと】

以上の3つの条件が全て揃うと落葉広葉樹の葉はきれいに色づくそうです。

しかし、海洋性気候の温暖で湿潤な八丈は、本土のようにきれいに紅葉しません。自生している植物の中で本土の秋の紅葉と同じ仕組みで赤くなるのはハゼノキだけなんです。山にまばらに生息するハゼノキの紅葉は緑の中にぽつんぽつんと点在し、迫りに欠けます。(かえって緑の中に点在する赤は、人の気を惹きつけ、「あれは何だろう?」と興味がわいてきます。)

では、島にたくさんある常緑広葉樹は紅葉しないのでしょうか? いいえ、そうではありません。ちゃんと紅葉します。でも、秋の紅葉のように一斉にはありません。一年中季節に関係なく古くなった葉は紅葉し、寿命を終えます。

そんな八丈島ですが、今年はどういうわけか黄色や赤に紅葉した葉がたくさんあります。その理由についてみんなで考えてみました。すると、昨秋の台風シーズンに島の内陸にまで潮をあげるほどの台風が来なかったことが一番の原因ではないか(=潮枯れで落葉しなかった)との結論に達したのです。



緑に映える落葉樹ハゼノキの紅葉



常緑広葉樹コハクサンボクの紅葉

☆色とりどりの紅葉de押葉アートに挑戦!



シマクサギ



ハチジョウキブシ



オオシマザクラ



アオツツラフジ



オオムラサキシキブ



シチトウタラノキ



左の葉と別の種類も押葉にし、八丈島版「紅葉押葉アート」を製作しました。面白い作品が完成!

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

植物の冬越し戦略 - 島も冬はそこそこ寒い -

温暖なイメージがある八丈島ですが、島の冬は北西の冷たい季節風が吹く日が多く、地元で暮らしていると結構寒い印象があります。そんな島の冬を植物たちはどう過ごしているのでしょうか。



タブノキの冬芽は固い鱗片のような葉を何枚も重ね着して寒さや乾燥から新芽を守っています。このような冬芽は「鱗芽」と呼ばれます。



オオムラサキシキブはまるでフェルトのように見える毛を密に纏って新芽を守ります。このような冬芽を「裸芽」といいます。



二年草のコマツヨイグサは葉がペタッと地面に張り付いた状態で冬を越します。葉は重なり合わないようによく配置され、「ロゼット」と呼ばれます。



モウセンゴケの冬芽は目立たないので、真剣に探さないと見つかりません。1月26日に撮影したこの株は既に新芽が動き始めています。



オオタニワタリは漏斗のような形で株の中心に雨水と落ち葉を集めます。これで他の植物が進出できない樹上などに着生しても生きてゆける訳ですね。



中心に溜まった落ち葉をかき分けると、中に新芽が守られているのが判ります。オオタニワタリの漏斗型の草姿は一石三鳥の役割を果たしています。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。2021年の第1回はビジターセンター臨時休館中のため、スタッフだけで実施しました。

短い時間でしたが、八丈植物公園内で記録されているシダ植物の90%を確認することができました。

八丈植物公園季節調査（2021年第1回）参加者：VC木下、奥山、菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			33	ナガエコミカンソウ	実	22	モッコク	実
1	アオツツラフジ	熟した実	34	ノジスミレの仲間	花	23	ヤツデ	実
2	アオノクマタケラン	熟した実	35	ハキダメギク	花と実	24	ヤブツバキ	花
3	アキノノゲシ	花	36	ハチジョウアザミ	花と実	シダ植物		
4	アシタバ	実	37	ハマコンギク	実	1	アマクサシダ	
5	イヌホオズキ	花と実	38	ヒナギキョウ	実	2	アラゲヒメワラビ	
6	ウスベニニガナ	花と実	39	フウトウカズラ	実	3	イシカグマ	
7	エダウチチヂミザサ	実	40	ヘクソカズラ	実	4	ウチワゴケ	
8	オオアレチノギク	蕾	41	ヘビイチゴ	実	5	オオイタチシダ	
9	オオシマカンスゲ	蕾	42	ミツバ	花	6	オオタニワタリ	
10	オオバコ	実	43	ムラサキカタバミ	花	7	オニヤブソテツ	
11	オニタビラコ	花と実	木本			8	スギナ	
12	オムナグサ	実	1	アオキ	蕾	9	タチクラマゴケ	紅葉
13	カタバミ	花と実	2	イヌビワ	実	10	タチシノブ	
14	カラムシ	実	3	ウツギ	実	11	タマシダ	
15	キツネノマゴ	実	4	オオアリドオシ	熟した実	12	ナチシケシダ	
16	キランソウ	花	5	オオバヤシャブシ	蕾	13	ナチシダ	
17	コセンダングサ	花と実	6	オオムラサキシキブ	実、白実も	14	ノキシノブ	
18	コハコベ	実	7	ガクアジサイ	実	15	ハカタシダ	
19	コマツヨイグサ	花と実	8	カラスザンショウ	実が残る	16	ハチジョウカナワラビ	
20	コミカンソウ	実	9	サカキカズラ	蕾	17	ハチジョウシダ	
21	シチトウスミレ	花	10	シチトウタラノキ	実が残る	18	ハチジョウベニシダ	
22	シマテンナンショウ	花	11	シマクサギ	実が残る	19	ハマハナヤスリ	
23	シマナガバヤブマオ	実	12	シマモクセイ	若い実	20	ヒトツバ	
24	ススキの仲間	実	13	タインミンタチバナ	蕾	21	ヘラシダ	
25	スズメノカタビラ	実	14	ツルグミ	蕾	22	ホシダ	
26	セイタカアワダチソウ	実	15	テイカカズラ	実	23	ホラシノブ	
27	チガヤ	実	16	ハゼノキ	紅葉	24	マツバラ	
28	ツルソバ	花と実	17	ハチジョウキブシ	蕾	25	マメヅタ	
29	ツルマオ	実	18	ヒサカキ	蕾	26	ミゾシダ	
30	ツワブキ	花と実	19	ヒメユズリハ	実が残る	27	ヤマイタチシダ	
31	テリミノイヌホオズキ	花と実	20	ホルトノキ	実が残る	今回は、シダ植物 27 種を含む 94 種の植物を観察しました。		
32	トゲナシサルトリイバラ	実が残る	21	マサキ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「シマモクセイ」にスポットを当ててみたいと思います。



シマモクセイ

Osmanthus insularis

西日本から台湾まで分布するモクセイ科の高木で、材が固いことから「ナタオレノキ」の別名もあります。

東日本では八丈島と小笠原に自生し、八丈島では「へーらのき」と呼ばれていますが、語源ははっきりしません。

種小名の「insularis」は「島」を意味しますが、この「島」は伊豆諸島の事ではなさそうです。

雌雄異株で、秋に咲いた雌花が結実すると、冬の間実が大きく育ち、初夏に黒く熟します。(T.K.)

2021 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります	1	2	立春 3	4	5	6 ガイドウォーク
7 ガイドウォーク	8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15	16	17	雨水 18	19	20 ガイドウォーク
21 ガイドウォーク	22	23 ガイドウォーク	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「春探し東里散歩」
28 ガイドウォーク						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
2/14(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

中止の可能性あり

八丈学講座 「春探し東里散歩」

毎月行っている八丈学講座。今月は大賀郷東里地区を歩きます。
2/27(土) (13:30～15:00) 中学生以上
プラザ公園駐車場 集合・解散 参加費:50円 定員:10名

中止の可能性あり

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

2月7日まで中止
その後は未定

ビデオプログラム

- 10:00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00～ 八丈・海・生きものたち
- 当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2021.2.1 第237号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401 当面の間、臨時休館中
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

雪深い地方にお住まいの方はまだまだそこそこではないと思いますが、昼間の時間が少しづつ長くなって日差しに力強さが戻ってくるこの時期、密を避けて春の兆しを探しながら散歩するのは如何でしょうか？ 新しい発見もあり、楽しいものですよ。(T.K.)